

「あの時、被災地で」（人権課題：災害と人権）

1 学習のねらい・人権教育の視点

- (1) 避難所生活で生じる問題について考え、災害時には高齢者や障害者、女性、子ども、外国人、病人などといった、特別な支援や配慮を要する「災害弱者」と呼ばれるさまざまな人たちがいることに気づく。
- (2) 災害時においても、互いの人権を尊重する意識をもち、地域の一員として、困難や課題に対して自分ができることに取り組む意欲や態度を身につける。

2 指導上の留意点

- (1) 災害や防災は、生徒の関心も比較的高く、防災教育や避難訓練の際に、学校や地域と連携し、人権的な視点を取り入れることで、防災と人権の両方において学習効果の充実が期待できる。
- (2) 災害時に自分の命を守る「自助」、助け合いやボランティア精神などの「共助」の心をはぐくむ「兵庫の防災教育」と関連づけながら、「命を尊重する心」「他者を思いやる心」などを育成する。
- (3) 災害においては、誤った情報や風評など不確かな情報に左右されず、客観的な事実など正しい情報や認識に基づいて行動する意識を高める。
- (4) 災害においては、状況や対応において、正解はない。生徒の考えや活動においても、多様な考え方やボランティアも含めた活動について、生徒に主体的に考えさせる。

3 展開例

学習活動	指導上の留意点、使用する資料
<p>1 災害と被災地について、東日本大震災（阪神・淡路大震災やその他の災害等）について理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 災害時、避難所では、どのような人が、どのようなことに困るだろうか。 </div>	<p>○ 東日本大震災、阪神淡路大震災の概要について確認する。また、必要に応じて直近の自然災害にも触れ、日本は自然災害が多く、さまざまな備えが必要であることを確認する。</p>
<p>2 左ページの避難所の様子の図を見て、自分が避難所で生活する時の困りごとについて考える。 右ページ「避難所での災害弱者・困りごと」について考える。 ワークシートに記入し、班内やクラスで協議・共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 災害に伴う人権問題には、他にどのようなものがあるだろうか。 </div>	<p>○ 避難所生活において、女性や障害者、外国人等の特に支援や配慮を必要とする人たちの存在だけでなく、プライバシーや健康面、新型コロナウイルス感染症のような感染症対策などにも気づかせる。</p>
<p>3 「人権に関する県民意識調査」を見て、気になった項目をワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 災害発生時から復旧・復興の過程で、高校生としてどのようなことができるだろうか。 </div>	<p>○ 災害発生時や避難所だけでなく、風評による被害やいじめ、風化することなど、復興過程や復興後の人権問題についても気づかせる。</p>
<p>4 災害発生時から復旧・復興の過程で、できることを考える。</p>	<p>○ 地域の一員として災害時に活躍することが期待されている点について気づかせる。 ○ 災害発生時、避難所、復興過程など、場面や時期を分けて、班ごとに割り当てて考えさせる展開もありうる。</p>

5 ワークシート【ケース】に取り組む。
個人で考えた後、班やクラスで共有する。

○ 右ページの「高校生の被災地支援活動」やボランティア、地域と合同の防災訓練・避難訓練等の取組は一例である。

その他、「3」で考えた「風化」に対する取組なども考えられ、必要なことを主体的に考え動くことが重要であることを理解させる。

○ 災害時に限らず、支援の際には、相手の立場に立ち、必要な手立てを考える視点が大切であることに気づかせる。

○ 正解を求めるのではなく、困りごとを想像し、それに対して必要なことを考えるという過程を重視する。

4 参考資料

(1) 「災害時要援護者対策ガイドライン」(日本赤十字社)



(2) 教職員用指導資料「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」(改訂版)【実践事例編】(平成30年3月)

(ア) 「家族や地域の人々とのかかわりを考え、生活をよりよくする」

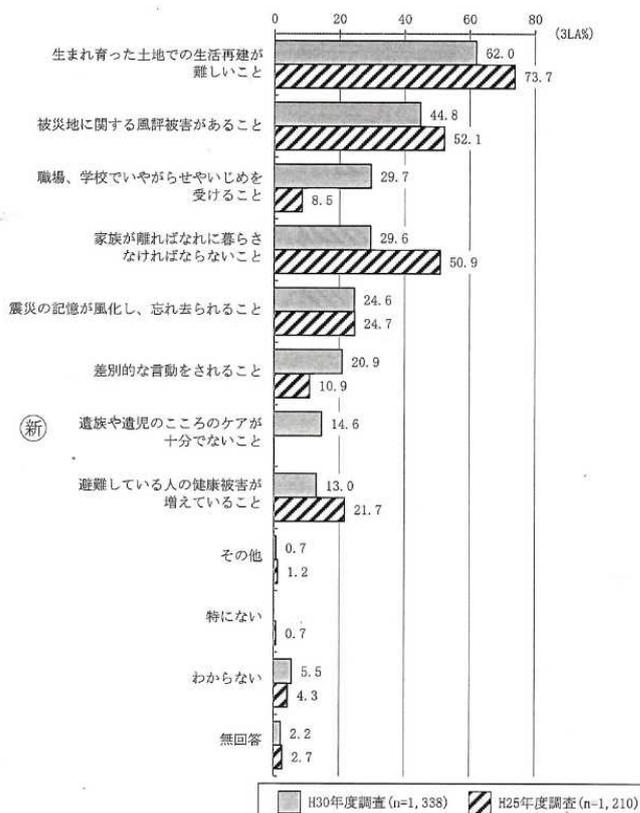
[QRコード左]



(イ) 「男女共同参画社会と防災を関連づけた学びを行う」 [QRコード右]

(3) 平成30年度人権に関する
県民意識調査の概要)((公財)兵庫県人権啓発協会)

東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、あなたは現在、特に被災者にどのような人権問題が起きていると思いますか。(○は3つまで)



災害時の人権問題について

年 組 番 名前

1 避難所では、どのような人が、どのようなことに困るだろうか。

自分が困りそうなこと:	
(他の人について)誰が	どのようなことに

2 災害に伴う人権問題には、他にどのようなものがあるだろうか。

--

3 「災害弱者」への配慮や支援として、高校生としてどのようなことができるだろうか。

災害時に、高校生の自分でもできる事を考えよう。

--

【ケース】 あなたの住む地域で震災が発生し、あなたの通う A 高等学校の体育館に避難所が開設され、あなたは避難所の運営者の一人として、避難所のルールづくりをすることになりました。地域住民約 100 人が避難、幼児や高齢者、障害者のほか外国人、ペットを連れている人など多様な人が避難してきました。水、電気は確保できており、おにぎり、クラッカー、水の配給が届いています。

Q. 避難してきた人たちの人権が尊重される生活のために、どのようなことを決めればよいでしょうか。理由とともに考えてみましょう。

必要だと考えたルール	必要と思った理由